



神戸・淡路研修 行ってきました！

1・2年生は5/9～10の日程で、防災・SDGsを学ぶために、神戸・淡路に行ってきました！



【人と防災未来センター】

ガラス張りの近代的な建物に入り、語り部講話・体験シアター・写真展示を順に回った。語り部講話では、「激しい縦揺れが起こり、体が天井に着くくらい浮いた。逃げることに必死で、大切なものは何も持って出ることができなかった。」の言葉が印象的で、生徒は神妙な面持ちで話に聞き入っていた。大型スクリー

ンを使った大迫力の映像と音響で震災の追体験ができるシアターは、まるでその場にいるような臨場感があり、生徒は自然の驚異に圧倒されていた。写真展示では、班ごとの研修課題にそって、班員で協力して写真やメモを残し、班で集まり話し合っていた。それぞれが真剣に震災について学びを深めており、教室では学べない貴重な体験だった。



【北淡震災記念公園】

「自分の命は自分で守る。そして、家族も守る。」という館長自身の体験談から始まりました。淡路島での被害は、地域の連携で最小限にとどまった。しかし、両親と子ども2人の4人家族の内、母親以外の3人を亡くし、葬儀の時の母親の様子が目に焼き付き、今でも忘れられないと。そのような悲しみを二度と起こさないためにも、「防災・減災」の知識を身につけてほしいという内容でした。

その後、野島断層や神戸の壁、断層の上に建てられていて震災にも耐えた「メモリアルハウス」を見学しました。断層のスケールの大きさに興味津々で見学していました。



【SDGs体験】

「どんな未来にしたいか考えることがSDGsである」「明るい未来、暗い未来…どっちにしてもその状況や生活を楽しめるのがいいよね」という話から始まり、身近にある自然の力、土の大切さなど説明を聞きながら目で見て触って感じて。



次に、開墾、火おこし、畝づくりを体験！慣れない道具を一生懸命使い、非日常的な体験を通して生徒は生き生きとした姿をしていました。スタッフからはチームワークやセンスの良さに「すごい！うまい！」と感動してくれました。



最初は、山や草が苦手な生徒も、気がつけばノコギリや鎌(かま)を夢中で使っていました。スタッフからの熱い思いが伝わり、とても勉強になった体験でした。帰りのバスでは「SDGs体験、めっちゃ楽しかった」との声。友達の良いところもたくさん発見できました！



黒崎中でも何かできるといいなあ
と先生たちもノリ
ノリでした。